

2025年度通期決算後 IR 面談等でご質問について

■ 本資料について

2025年度通期決算発表後のIR面談等では、投資家・アナリストの皆さまより様々なご質問をいただいております。

このため、6月24日付で決算説明資料の更新版を当社ウェブサイトにて公開するとともに、特に高い頻度でご質問いただく事項については以下のとおり追加でご説明いたします。

本情報が、当社の事業構造や今後の事業見通しなどについて理解を深めていただく一助となれば幸いです。

Q1. 2026年度通期業績見通しで「成長投資増」を販管費増要因として挙げているが、具体的な投資内容について聞きたい。

A. 決算説明資料に記載している主なアイテムを具体的に説明すると以下のとおり。いずれも2026年度以降の中期的視点にたった成長ストーリーに欠かせないアイテムであり、かつ、成果・効果刈り取りまでに一定の時間を要することから、2026年度での実行が必要と判断したものである。

① DX投資…

- ・収益力強化に向けたDX活用による業務の抜本的な見直し、
- ・今後の事業成長に必要な業務基盤構築に向けたDX投資、
- ・デジタル技術を活用して業務課題を解決できるDX人材の早期育成 等

② 人的投資…

- ・成長領域に貢献する高度人材の獲得、
- ・人材のリテンションを意識した賃金水準の維持、
- ・社員エンゲージメント向上に向けた職場環境整備、
- ・人材育成・能力開発の強化 等

③ 米国進出検討費用…

- ・米国での「NEOSソリューション」実証実験費用
(システム開発、実験機設置、データ収集・分析 等)
- ・開発要員の人件費 等

Q2. 前年度までオセアニアで発生していた顧客による在庫調整が解消する時期はいつごろを見込むのか。

A. ・2025年度に発生した在庫調整は、概ね解消している。
・2026年度から、政府主導「レガシーメーター更新計画」(2026年～2030年)による売上拡大を見込んでいたが、顧客による初年度(2026年度)のメーター設置計画が、当初想定より「スロースタート」となったこと等により、2026年度売上高は、中期経営計画値を下回る見通しである。(2025年度実績値は上回る見通し)

Q3. 配電盤事業の今後の見通しについて聞きたい。

A. ・当社の配電盤事業は電力会社向け、産業向けで構成されている。産業向けの中でも、とりわけデータセンター向け案件は、高水準の需要が継続しており、採算性を従来以上に重視した受注案件の選択

が可能な市場環境である。それに伴い、利益率も改善している。

- ・ 今後も受注環境は引き続き好調に推移するものと見通している。生産面では、すでに工場の稼働率は高水準にあり、当面、この水準が続くものと見ている。
- ・ このため、2026年度の売上高は、2025年度実績、中計2026年度目標値ともに上回る見通しである。

以 上

事業全般に関する情報は、弊社ウェブサイトよりご入手いただけます。どうぞご利用ください。

- ・ 統合報告書 2025

<https://www.osaki.co.jp/ja/ir/library/annual.html>

- ・ インバスターズガイド

<https://www.osaki.co.jp/ja/ir/news/irnews1218.html>

- ・ 決算関連資料

<https://www.osaki.co.jp/ja/ir/library/result.htm>

<本資料に関するお問い合わせ先>

コーポレートコミュニケーション部

e-mail : ir@osaki.co.jp

■ 本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それをして前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は事前に通知することなく変更されることがあります。

■ 本資料は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

■ 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用するとはできません。